

そこが聞きたい!! 一般質問

一般質問のようすは、インターネット録画配信をしています。また、議員名の横の2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は2年間です)。

一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。3月定例会では、16名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。【インターネット録画配信もご覧ください】

東中学校跡地に企業を立地する考え方は、白紙撤回すべし 金子 広和 (創造)



録画配信の
2次元コード

◆東中学校跡地には学校と地域供用施設の整備を

- ①東中学校跡地に企業を誘致するのではなく、「第4次狭山市総合計画」で示す工業・流通拠点へ第一に誘致すべきでは。また、東中跡地への企業立地でなければならない理由は。
- ②企業立地ではなく、将来の狭山の大切な子ども達のため、学校や地域供用施設としては。



企業立地のための廃校だったのか

総合政策部長 ①企業立地は、工業・流通拠点のエリアに行うのが第一だが、前期基本計画の中で入間川地区の土地利用転換構想地区は、産業系も視野に入れて転換を図ることとしている。②跡地を学校とすることは、公共施設再編計画の中でも、旧東中学校跡地周辺の小中学校の建て替えは位置づけられていないことから、基本的な考え方の中にも盛り込んでいない。地域供用施設については、跡利用の基本的な考え方の中に盛り込んでいっているところであり、今後、地域の意見なども聞いていきたい。

◆市内から羽田空港まで直通運転を可能に

新空港線(蒲蒲線)の早期実現に向けた計画では、所沢市と川越市が関係自治体に含まれている。狭山市も積極的に応援すべきでは。

市民部長 新空港線の整備の今後の動向を見極める中で、所沢市のほか入間市や飯能市とも連携して対応を検討したい。

さらなる英語教育の推進とオールイングリッシュの導入 土方 隆司 (新政みらい)



録画配信の
2次元コード

◆新たな時代を担う子ども達に英語教育の推進を

- ①グローバル化の進行や進展が目覚ましくなりつつある中、狭山市は英語教育にどのような認識を持っているか。
- ②学習指導要領の改訂による教育環境の変化、それに伴うストレスを可能な限り軽減するため、英語が教科となる前から、学校活動にオールイングリッシュを導入しては。
- ③平成の時代が終わりを告げようとしている



中、新たな時代を生き抜く力を子ども達に身につけさせる必要があると強く感じており、その根幹をなすのが教育と考えるが、英語教育の推進に向けた市長の所信は。

学校教育部長 ①グローバル化が進み、今後ますます国際社会の中で主体的に生きることが求められる中、国際共通語である英語力の修得が不可欠であると認識している。

②すべての授業を英語で行うことは、児童生徒の発達段階を考慮する必要があるが、オールイングリッシュは、英語の絶対量が増えるなど多くのメリットがあると考えられ、英語や英語活動の授業で推進していきたい。

市長 ③狭山市では、早くから英語活動を取り入れ、英語に親しむ環境を整えてきた。小学校へ本格的に英語教育が導入されることに伴い、これからは使える英語を身につけさせることが重要となるため、こうした英語教育がより一層推進されるよう支援していく。

ごみの戸別回収の導入に向けて、進めてもらいたい 三浦 和也 (創政会)



録画配信の
2次元コード

◆ごみの戸別回収の導入に向けて

- ①昨年6月以降の調査・研究の取り組み状況は。
 - ②都内の状況と導入が進んだ理由、県内の状況は。
- 環境経済部長** ①戸別回収を実施している東村山市や東久留米市を訪問し、ごみの排出や回収作業の状況、戸別回収の導入経緯や現在の課題点など



ごみの戸別回収の導入へ前足を

を視察した。②品川区と台東区の全域、北区の一部区域、23区以外では25市町が導入。多摩地域では、最終処分場延命化の観点から、ごみ減量の推進のため、全域でごみ有料化を進める政策提言があり、有料化にあわせて戸別回収の導入が進んだもの。なお、埼玉県内で導入している自治体はない。

◆小・中学校の規模と配置の適正化基本方針

基本方針の見直しの内容は。
生涯学習部長 小学校の適正規模の基準について、文部科学省の手引きを参考に、これまでの「18学級から24学級」を「12学級から24学級」に広げた。また、小規模化による学校運営上の課題などが顕著な小学校は、優先して規模と配置の適正化に取り組むこととし、中学校では、学校間における生徒数の不均衡の状況を勘案して、通学区域の再編の検討を続けることとしている。

『狭山市まち・ひと・しごと創生総合戦略』実行! 内藤 光雄 (新政みらい)



録画配信の
2次元コード

◆転出抑制と転入促進

「住みよい生活圏域」の形成の進捗は。
総合政策部長 平成29年4月から、親元同居・近居支援補助制度を開始し、30年1月末までに27件1,170万円の補助金を交付した。これによる転入者数は80人であった。

◆総合戦略のさらなる加速

各種施策のスピードアップのための投資は。
市長 人員配置や予算措置で、戦略的かつ積極的な投資を行っている。また、職員には、スキルアップのための研修や先進事例の視察など積極的に参加させていく。今後も、最少の投資により最大の効果が得られるよう、時期を逃すことなく、
その他のテーマ▶狭山市人口ビジョン▶転出超過の要因▶若い世代が住みたくなる環境とは

最適なタイミングで施策の推進に当たっていただきたい。

◆出会いの場の提供

「婚活事業の推進」の進捗は。
総合政策部長 28年度は、旧東中学校を会場にした「学校で恋するさやまコン」、29年度は、鉄道事業者の協力のもと、特別列車内を会場にした「電車で恋するさやまコン」を開催した。2回の合計で、男性42人、女性38人が参加し、17組のカップルが成立した。



27年度から31年度の施策や事業を掲載

その他のテーマ▶既存私道の維持管理について

ここに掲載していない一般質問の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページをご覧にならない方には、FAXか郵送でお届けしますので、議会事務局にご連絡ください。04-2953-1111内線3313